

水戸市議会議員

佐藤あきお

夢のある元気な
水戸市をめざして！国民民主党
Democratic Party For the People

2022.10

No 7

市政だより

310News



令和4年第3回定例会が、9月5日からの24日間の日程で開催され、議案13件、報告23件、人事案件同意8件、議員提案8件そして、令和3年度一般会計決算認定3件などの案件を議決し、9月28日に閉会いたしました。

今定例会においては、6月定例会で制定された「水戸市納豆の消費拡大に関する条例」に続き、議員提案条例として2例目となる「水戸市地産地消の推進に関する条例」が、全会一致で可決され、条例制定となりました。

今号では、一般質問に立った令和4年第2回、第3回定例会における答弁内容と今年度の主な事業内容についてご報告いたします。

令和4年第3回定例会（9月13日 一般質問要旨）

◆那珂川の河川改修の進捗状況や今後の見通しは

Q 令和元年東日本台風の影響を受け、令和2年1月末に策定された「那珂川緊急治水対策プロジェクト」が進められているが、特に河道掘削エリアの整備進捗状況や河口付近を含めた那珂川下流区域の無堤防エリアについて、今後の見通し等を伺いたい。

A 那珂川の河川改修については、令和元年東日本台風と同規模の洪水でも安全に水を流下させるため策定した「那珂川緊急治水対策プロジェクト」によって様々な事業が、令和6年度の完成を目標に進められている。現在「河道の流下能力の向上」を図る目的として、樹木伐採や河道掘削が実施されており、水戸市若宮地区や水府・枝川地区など全6地区に分けて、集中的に取り組んでいる。各地区の河川区域内には、残された個人所有地も存在することから、平行して用地取得も進めており、用地がまとまった箇所から直ちに着手していくこととなっている。



（出典：常陸河川工事事務所）

また、水戸市常澄地区の東水戸道路から下流域の無堤部については、「河口部対策の検討」として位置づけられており、現在、他の地区で実施している河道掘削や堤防整備等の効果・検証を踏まえ、河口特有の汽水域という特殊



（出典：常陸河川工事事務所）

な環境を考慮した、現地に最適な対策手法について、河川管理者である国と緊密に連携し、ハード・ソフト両面の視点で地域の皆様に御意見をいただきながら検討していく。

（答弁：建設部長）

令和4年第2回定例会（6月14日 一般質問要旨）

◆遠距離通学児童に対する通学費用の支援を

Q 通学に関して、学区内であっても特に低学年の児童にとっては徒歩通学が困難な地域や危険な箇所があることで、やむを得ず路線バス等で通学をしている児童がいる。子どもの発達段階や通学の安全確保、交通手段等を考慮した上で、遠距離通学の児童に費用補助などの支援をすべきであると考えているが、見解を伺いたい。

A 本市では、山根小学校の双葉台小学校への統合に伴い、スクールバスを運行しており、旧山根小学校区の児童16名が利用している。また、路線バス利用の児童は約300名である。経済的理由で就学が困難な児童の保護者に対し、就学支援制度による通学費の実費を支給している。



（スクールバス：双葉台小学校）

今後、全ての子どもが家庭の経済状況に左右されずに義務教育を円滑に受けられるよう、通学費の支給も含めた制度の充実を図る。

（答弁：教育部長）

『納豆の消費拡大に関する条例』

《7月10日は「納豆の日」》

6月定例会において7月10日を「納豆の日」とする内容などを盛り込んだ「納豆の消費拡大に関する条例」を制定。

市内産業の活性化及び市民の健康の増進に寄与することを目的として、新たに制定されました。



(出典：みとの魅力発信課)

市内ショッピングモールにおいて条例制定のセレモニーを開催

『地産地消の推進に関する条例』

9月定例会において、「地産地消の推進に関する条例」を制定しました。

この条例は、地産地消の推進に関する基本理念を定めるとともに、市の責務並びに生産者、事業者及び市民の役割を明らかにし、市内で生産された農産物等又はこれらを加工したものについて、将来にわたる安全で安心な供給体制を構築し、もって本市の産業の持続的な発展及び市民の健康的で豊かな生活の形成に寄与することを目的とします。



◆主な事業など

み とちゃんのプレミアム商品券（第4弾）

《経済振興・子育て支援プレミアム商品券発行事業》

【補正予算額：1億7,500万円】

市内経済の活性化と消費の拡大を図るとともに、子育て世帯を応援するため3割お得なプレミアム商品券が発行されます。

◇販売部数：5万セット（プレミアム率30%）

- ・子育て世帯分 1万セット
- ・一般分 4万セット

◇販売価格：1万円

⇒ 1万3千円分の商品券

◇実施時期：令和4年12月以降



内 原駅南北自由通路11月供用開始

《内原駅周辺地区整備事業(令和元年～5年度継続)》

【予算額：6億1,760万円】

JR内原駅の駅舎橋上化が進み、令和4年11月より「南北自由通路」が供用開始となります。



(南側からの視点)

(北側からの視点)

子 宮頸がん予防接種の勧奨を再開

《子宮頸がん予防接種事業》

【予算額：1億3,040万3千円】

令和4年4月から積極的な接種の勧奨を再開いたしました。定期接種の対象となる、小学6年生から高校1年生に相当する年齢の女子の皆さまやその保護者の方に、予防接種券や予防接種に関するリーフレット等を送付しております。また、積極的な接種勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方は、公平な接種機会を確保する観点から、子宮頸がん予防接種（3回接種）の不足回数分について、あらためて公費による予防接種（キャッチアップ接種）を受けることができます。

水 戸市浜見台霊園合葬式墓地の整備

《墓地公園整備事業》

【予算額：8,000万円】

墓地の無縁化を防ぐために、遺骨を納骨袋に入れ、納骨壇に他の遺骨と共同で埋蔵する共同埋蔵の合葬式墓地が整備されます。

- ◇施設概要
- ・整備数：約2500体
- ・使用料：焼骨1体につき7万円(永代)
- ・利用開始：令和5年4月から



合葬式墓地のイメージ図

予定：令和4年第4回定例会【12/5～21】

皆さまのご意見ご要望をお聞かせください。

「佐藤あきおHP」公開中
<https://www.310akio.com/>



【事務所】
 〒310-0061 水戸市北見町3-81
 TEL/FAX 029-228-3201
 【自宅】
 〒310-0011 水戸市三の丸2-2-30
 TEL/FAX 050-8886-5373